

さとしゅう

議会だより

No. 102

2020.10.31



岡山県 里庄町議会



今年も豊作!

- 令和元年度 決算概要 (2)
- 身近な事業の紹介 (4)
- 令和2年度 一般会計補正 (6)
- 8月・10月 臨時会 (9)
- 町政を問う! (7人が登壇) (12)
- 100号記念特別企画 (町民の声、こえ、こえ) (20)

全会一致で認定

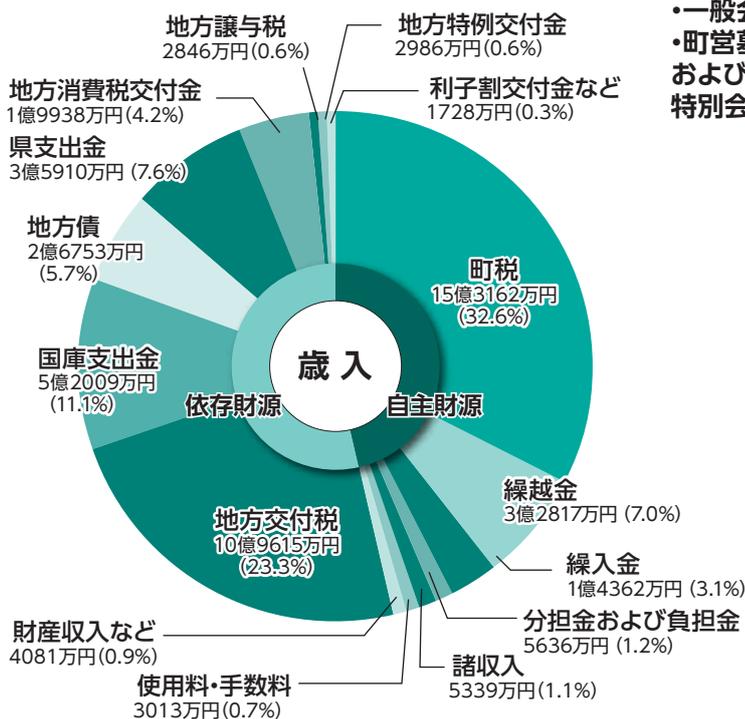
9月

定例会

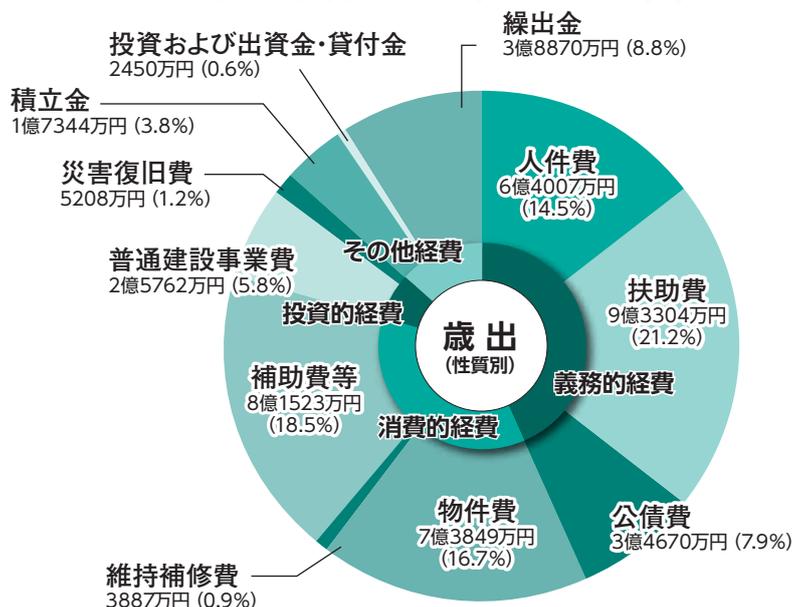
歳入総額 47億195万円

〔普通会計表示〕

- ・一般会計
- ・町営墓地
- および育英奨学資金の特別会計



歳出総額 44億874万円



令和2年第6回定例会は9月4日から18日までの会期で行われました。議案は、条例の一部改正2件、令和2年度補正予算9件、令和元年度決算9件、人事案件1件が上程され、原案通り可決・認定・同意されました。また、報告2件がありました。

補正予算8件及び平成元年度決算については、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。

なお、一般質問には7人が登壇し、町の姿勢や考えを問いただきました。

令和元年度一般会計決算

歳出44億1205万円

令和2年度一般会計補正予算も全会一致で可決

税金は次のように使われました

令和元年度決算

◎主な歳出(5千万円以上の項目について)

◆国民健康保険繰出金	7941万円
◆障害者福祉事業の扶助費	2億6881万円
◆後期高齢者医療療養給付費負担金	1億391万円
◆介護保険繰出金	1億5631万円
◆小児医療費の扶助費	5653万円
◆保育所給付費	3億3915万円
◆児童手当費	1億9076万円
◆保育園への負担金補助及び交付金	7213万円
◆廃棄物収集委託料	5849万円
◆道路新設改良工事費	8934万円
◆公共下水道事業に対する負担金(基準内・外含む)	2億2640万円
◆財政調整基金積立金	1億3179万円

町の借金と貯金(令和元年度の状況)

令和元年度起債額(借金) 4億4773万円

一般会計 2億6753万円

下水道事業会計 1億8020万円

令和元年度公債費(元金償還金) 5億709万円

一般会計 3億2145万円

下水道事業会計 2288万円

下水道事業会計 1億6276万円

令和元年度未起債残高※ 69億579万円

一般会計 33億1155万円

下水道事業会計 3918万円

下水道事業会計 35億5507万円

令和元年度未起債残高※ 69億579万円

一般会計 33億1155万円

一般会計の基金(貯金総額) 22億5532万円

財政調整基金 9億4331万円

いきいき里庄基金 1億円

地域振興基金 5894万円

開発基金 2億2316万円

減債基金 9197万円

ふるさと保全基金 6600万円

文化振興基金 4億1404万円

スポーツ振興基金 1億100万円

教育施設整備改修基金 9299万円

土地開発基金 1億302万円

環境整美基金 5039万円

古山基金 1008万円

森林環境譲与税基金 43万円

令和元年度未起債残高※ 69億579万円

一般会計 33億1155万円

下水道事業会計 3918万円

下水道事業会計 35億5507万円

令和元年度未起債残高※ 69億579万円

一般会計 33億1155万円

下水道事業会計 3918万円

下水道事業会計 35億5507万円

令和元年度未起債残高※ 69億579万円

一般会計 33億1155万円

下水道事業会計 3918万円

下水道事業会計 35億5507万円

令和元年度未起債残高※ 69億579万円

一般会計 33億1155万円

下水道事業会計 3918万円

※元金償還金のうち、概算40・4億円が地方交付税に算入される見込み。

端数処理をしているため、合計額が一致しない場合がある。

令和元年度 身近な事業の紹介

新規および臨時の事業

・駐車場整備(中学校南側)	1656万円	・農林水産災害復旧工事	2693万円
・プレミアム付商品券販売	1987万円	・第1部消防機庫新設	2517万円
・皿池大池改修工事負担金(県事業)	1600万円	・東西幼稚園空調設備設置	507万円
・公共土木災害復旧工事	2451万円	・発達支援センター設置(中央公民館)	351万円

継続事業

・町営駐車場管理経費	573万円	・道路舗装等修繕工事	1109万円
・産業文化祭運営委託	407万円	・つばきの丘運動公園管理、運営 (内シルバー委託料 809万円)	1901万円
・まちづくり補助金(各分館に)	1003万円	・科学振興仁科財団補助	1839万円
・社会福祉協議会補助	2782万円	・学童保育運営補助	2261万円
・高齢者タクシー料金助成	338万円	・東小学校下水道接続工事他請負費	779万円
・敬老会実施費用	237万円	・西小学校調理室床塗装工事他請負費	710万円
・予防接種(緊急風しん、その他ワクチン)	2789万円	・幼稚園、小・中学校生活支援員	2549万円
・妊婦、産婦、乳幼児などの検診	1251万円	・文化ホール一般経費	2367万円
・合併処理浄化槽設置補助	282万円	・図書館一般経費	2761万円
・農業用水路等改修工事	1942万円		
・地籍調査(人件費及び一般経費含む)	6672万円		

令和元年度

決算

令和元年度決算に対する総括質疑は、3人が行い予算決算委員会に付託されました。

総括質疑

不要額の理由は

佐藤議員 不用額の理由は、

く買うため予算は余る。

総務課長 入札は100%ではないため、その分が余る。職員も、工夫をしながら、効率よく、安

く買うため予算は余る。教育長 東小学校のグラウンド南ブロック塀の撤去工事で、委員会のミスで工事をしていないため、不用額となった。

佐藤議員

消防の備品購入費で、長靴は15万6000円となっている。予算は50万42万円となっていた。整備はできたのか。

総務課長

補助金を買って、前倒しで手袋を買ったため、長靴は購入数が少なくなった。

経常収支比率の増加は

仁科千議員

経常収支比率が昨年は86・5%、これが88・9%と2・4%

増えているが、理由は、

総務課長

歳出の一般財源が充当された経常経費

は、全体で8606万円の増。

開発基金からの繰り入れを減らし、一般財源を充当したため。

仁科千議員

財政調整基

金が9億4300万となるが、目標値はどのぐらいか。

これからの開発基金、教育施設整備改修基金の見通しは。

総務課長 財政調整基金の目標値は、10億円は確保したい。それに近づいたので決算剰余金の一部を、開発基金と教育施設整備改修基金のほうに積み立てた。

仁科千議員 振興計画最終年度の決算。実質単年度収支、起債残高等について説明と、町長の評価は。

総務課長 実質単年度収支は1億2476万円。起債残高の元金部分が33億1154万円。交付税算入見込額は2億9733万円。

町長 諸事業により、起債の償還も増えてくる。経常収支比率は注視する必要がある。

町の全体施策を通して安全・安心や住みやすさ

決算

を実感してもらうことが定住促進や人口減少の抑制につながっていくと考えている。

子どもの元気な声が響き、笑顔があふれる町を目指して取り組んでいく。

仁科千議員 今の段階で起債はどうなるのか。

総務課長 今年も防災伝達システムで3億円の借金をするなど、起債残高は増えていくことが予想される。工夫をしながら事業をする必要があると考えている。

投資的経費にしわ寄せ

仁科英議員 財政力指数はどうなっているのか。

一般財源トータル額は。

総務課長 財政力指数は、3カ年平均で0・1減。一般財源額のトータルは29億5238万円。

仁科英議員 経常収支比率が高くなっている。投資的経費にしわ寄せがい

効率的な事業が進むよう取り組む。

仁科英議員 高齢者や住民関係の細かいところは削らないようにして欲しいが答弁を。

町長 住民の生活に密着する部分は、集中的に投資する必要がある。

下水道事業は、スピードを抑えながら進めていく必要がある。

高齢者に対する施策は、健康寿命の延伸が重要な使命であり、理学療法士を採用し、きめ細かい機能訓練や健康維持を進めていく。



地籍調査中



復旧が進む皿池大池(浜中南)

令和2年度

補正

令和2年度補正予算8件は、
予算決算委員会で審査し、追加
の1件は提案日当日審査し、す
べて原案通り可決しました。

一般会計補正予算

主な事業

学童保育運営補助金

335万円

教師業務アシスタント

419万円

新型コロナウイルス

感染症防止対策

100万円

東西幼稚園に、感染防
止関連用品を購入しまし
た。

新型コロナウイルス感
染症予防のため、学校休
業日に学童保育を拡大し
たことに対し、国の交付
金で対応するものです。

小中学校に配置されて
いる、教師業務アシスタ
ントの賃金確定に伴う補
正対応となったものです。

マッサージチェア購入

50万円

企業から寄付を頂き、
2台購入しました。健康
福祉センター機能回復室
に設置しています。

災害復旧工事

700万円

平成30年7月豪雨によ
り被災した3カ所の災害
復旧工事を行うため、5
00万円。また、今後の
対応費として200万円
を含めて計上されました。

インフルエンザ予防 接種事業の実施

2397万円

新型コロナウイルス感
染症とインフルエンザの
同時流行に備え、症状か
ら、それらとの見分けが
つかないため、インフル
エンザの感染を予防する
ことよって、新型コロナ
ウイルス感染症に対し
て適切な医療の提供を図
ります。

質疑

教師業務アシスタントとは

仁科英議員 教師業務ア
シスタントの目的と役割
勤務形態は。

教委事務局長 教員の事
務作業を軽減することが
目的で教員を補助し、基
本的には毎日勤務する。

仁科英議員 支援員との
役割分担は。

教育長 印刷、花壇の草
取り、簡単なデータの打
ち込みなど行う。

仁科英議員 財源は。

教委事務局長 県の補助
金を受け入れる。

仁科英議員 なぜ当初予
算に計上しなかったのか。

教委事務局長 確定した
のが2月下旬から3月で
当初予算には間に合わな
かった。

仁科英議員 会計年度任
用職員6人はどこにいつ
から増えたのか。

総務課長 教師業務アシ
スタント、部活動の指導
員、子ども家庭総合支援
事業の人の分を給料計上
した。働き出した時期は
全て4月から。

仁科英議員 給食調理員、
生活支援員の報酬が増え
た理由は。

教委事務局長 当初予算
時には会計年度の休暇等
に関する規程がまだでき
てなく、今回規程が整備
され、規程に基づいて補
正で給食調理員、生活支
援員の有給休暇の報酬を
組んだ。

仁科英議員 町長部局の
有給休暇の財源はどうな
っているのか。

総務課長 補正予算は発
生していない。



授業風景(西小学校)

意味があるのか

佐藤議員 37・5度あつてもPCR検査を受けられない状況。インフルエンザ予防接種を増やすことは意味があるのか。

健康福祉課長 発病を抑える効果は一定程度認められており、重症化の予防である。発熱患者を新型コロナウイルス感染の可能性があるという前提で、取り組まなければならない。同時流行による医療現場の逼迫の防止に繋がり、効果がある。

へ要望しては。

町長 PCR検査は、岡山県の市長会や町村会を通じて県に申入れしている。

佐藤議員 県外で接種した場合を尋ねる。

健康福祉課長 ①65歳以上

県外の市町村ごとで違うので、金額は言えない。

②19歳から64歳まで2000円を後から償還する。

緊急質問

研修は、やめる決断を

平野議員 コロナの中、今年研修に行かない団体もある。

今日行った団体があるが、バスで行く研修は控えてほしいと言っている。かたが、町長の考えは。

町長 緊急事態宣言が解除され、GOTOキャンペーンも行われている。いつまでも制限をかけていけない。感染予防をしながら日常を取り戻すことも重要な役割の一つ。

バスではソーシャルディスタンスをとり、消毒もしっかり行うとの事。視察先でも、体温測定、アルコール消毒も行っている。視察に行きたいということで私が認めた。

平野議員 コロナがある

うちは役場の研修は、やめる決断をしてもらいたい。が、どう思うのか。

町長 コロナの感染がなくなることはない。いつ安全になるのか判断が難しい中、全ての交流、移動を制限するわけにはいかない。

コロナの感染リスクがあることを団体の人と、話をし判断していきたい。

平野議員 感染の危険性があることは控え、安心・安全に暮らせる町づくりが、トップの仕事では。

町長 コロナに関する認識を、行政も町民もさらにしっかりと心に刻んで感染予防に努める。

9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	65億7328万円	(2397万円)
国民健康保険特別	10億8832万円	(3154万円)
介護老人保健施設特別	4754万円	(1754万円)
介護保険特別	11億3084万円	(1463万円)
後期高齢者医療特別	1億7123万円	(△1万円)
町営墓地特別会計	589万円	(219万円)
水道事業会計		
収益的収入	2億8612万円	(2710万円)
収益的支出	2億6747万円	(18万円)
資本的支出	1億814万円	(△1千円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億9107万円	(2千円)
収益的支出	3億5233万円	(2千円)
資本的収入	2億588万円	(26万円)
資本的支出	3億7661万円	(26万円)

人事

教育委員会委員
(再任)

里庄町大字里見

三吉 俊郎氏

町条例

一部改正

- ① 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
 - 固定資産評価審査委員会条例
 - 里庄町証明等手数料条例
 - 里庄町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
- 各条例において、情報通信技術の活用で、市民の利便性、行政運営の簡素化を図るものです。

② 里庄町町道の構造の技術的基準を定める条例

主な改正点は2点で、1点目は「自転車通行帯」を新たに規定し、幅員は例外を除き、1・5m以上にする。2点目は、道路の設計速度が時速60km以上である道路については、「自転車道」を設置するものです。

質疑

どういう形でやるのか

仁科英議員 具体的に何が起きるのか、どういう形でやっているのか。

総務課長 大きく変わつたところはない。サービスの一貫がデジタル化によって完結できる。

今まで児童手当、保育業務、母子関係で手続きはできていた。また、税関係、図書館の貸出業務で利用していた。業務の効率化が図れ取り入れてよかつたと実感している。

今、8事業ある。それを令和6年度には18事業に拡大したい。

仁科英議員 行政の推進に関する状況を随時公表するとなっている。内容回数とも後退しているのではないか。

総務課長 法律が随時という表現なので変えた。今までは情報の公表はできていない。従来どおり年1回程度は、公表をしていきたい。

仁科英議員 オンラインを一方的に強制するのはなく、そうでない場合もあり得るといふことを、はっきりさせていると、解釈していいのか。

総務課長 その通り。

仁科英議員 デジタル化に対応できない人にはどう対応するのか。

町長 国民が等しく、簡素で正確に行政手続ができるようにという趣旨で、デジタル化が進む。サービスが低下しないよう取り組む。

委員会報告

予算決算委員会

令和2年度補正予算8件及び令和元年度決算9件について9月11日、14日、15日の3日間にわたり関係当局の出席を求め、慎重に審査を行いました。

令和2年度里庄町一般会計補正予算(第4号)では、地方交付税の算定額の内容、会計年度任用職員の給料、報酬、勤務形態などについて質疑、意見がありました。

給与費明細書の会計年度任用職員数に錯誤があり、修正内容の説明を受けました。



親子でリトミック(げんキッズ)

令和元年度の決算については、議決した趣旨と目的に従って適正かつ効率的に執行されたか、行政効果が発揮できたか。不納欠損は、滞納分の徴収を努力してほしい。

不用額の原因は何かなど質疑・意見があり、慎重に審査を行いました。特別会計決算、上水道・公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算は、適正に執行されていきました。

その結果、全会一致で原案を可決・認定すべきものと決しました。

臨時会

令和2年第五回臨時会を8月7日に開催し、新型コロナウイルス感染症対応交付金で、令和2年度一般会計補正予算1件が上程されました。

質疑

起債を2700万円増

一般会計補正予算

主な内容

防災倉庫の設置

650万円

避難所運営で、備品を備蓄する防災倉庫を2カ所に設置します。(東西公民館)

非接触型体温測定装置

140万円

不特定多数の人が訪れる場所等で、体温測定する装置を購入します。

小学校感染症対策バス借り上げ料

58万円

3密を避けるため、バス移動時の台数を増加するためのものです。

医療提供体制の強化を目的とした支援金の交付

450万円

町内の9つの医療機関に対し、50万円を上限に交付します。

物品の購入

323万円

小中学校再開によって必要となる、マスク等の購入をします。

事業継続の二助として

支援金を交付

3000万円

売り上げが減少した町内中小業者に対し、一事業者当たり10万円の支援金を交付します。

情報機器端末を購入

5576万円

GIGAスクール構想として残りの分を購入します。



検温にご協力を

修正動議

仁科英議員外4人

〈主旨〉

体育館の空調設備整備費のうち、臨時交付金の対象金額から、2700万円を水道会計の減額分に充てる。

空調設備整備費の不足分2700万円は、町債を増加して対応する。

仁科英議員 医療機関支援金として、1カ所当たり50万円は定額か事業見合いか。
健康福祉課長 事業見合いで交付する。

る。起債を2700万円増やせばいいのでは。
町長 どうするかは考え方。水道事業会計の実際の減額が確定してからでも十分間に合う。

仁科英議員 2700万円を水道会計に繰り出し、財源は臨時交付金を充て

また第3次、国の配分も出ると思うので、トータルで考えていく。

臨時会

令和2年第7回臨時会を10月21日に開催し、補正予算・財産の取得の2件が上程されました。

令和2年度

一般会計補正予算

奥迫池災害復旧工事
1億4000万円

平成30年7月豪雨災害で被災した土手の改修中、漏水が見つかり、堤防の全面復旧が必要になったための費用です。

町道新庄613号線
測量設計
500万円

金山地区の町道で、六条院東里庄線から焼却場への入り口までの路線で、将来的な安全確保のための測量・設計費用です。

見舞金

100万円

町の作業において、不慮の事故にあわれた人に対し、お見舞いをするものです。

財産の取得

情報機器端末

70098万円

情報機器端末売買契約で、端末1025台、表示用機器70台を購入し、小中学校に設置します。
〔落札〕
㈱両備システムズ

岡山市南区豊成2丁目7番16号

議員発議

国に提出

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしている。地方自治体の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

令和3年度の地方交付税等の一般財源総額を、確保・充実すること。その他4項目を国に意見書として提出する。

議会運営委員会委員長 小野光章 外8名



元気いっぱい運動会(里見保育園)

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名	平野敏弘	高田卓司	岡村咲津紀	小野光三	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	藤井典幸	議決結果	
8月臨時会 議案第48号	令和2年度里庄町一般会計補正予算(第3号)	修正案	○	○	○	×	○	×	×	○	×	修正可決
		修正部分を除く原案	○	○	○	×	○	×	×	○	×	
9月定例会	議案第49号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第50号	里庄町町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第51号	令和2年度里庄町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第52号	令和2年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第53号	令和2年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	令和2年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第55号	令和2年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第56号	令和2年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第57号	令和2年度里庄町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第58号	令和2年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第59号	令和元年度里庄町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第60号	令和元年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第61号	令和元年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第62号	令和元年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第63号	令和元年度里庄町介護保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第64号	令和元年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第65号	令和元年度里庄町営墓地特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第66号	令和元年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第67号	令和元年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第68号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第69号	令和2年度里庄町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告第6号	令和元年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	——	
報告第7号	令和元年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	——	
発議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
10月臨時会	議案第70号	令和2年度里庄町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第71号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

7人の議員が登壇して質問!

平野 敏弘 議員.....13P

- ① 里庄町への定住の取り組み
- ② 空き家対策
- ③ 災害時における避難

仁科 英磨 議員.....14P

- ① 地籍調査のあり方
- ② その他の課題3点
新型コロナ対策、人事政策、100歳体操参加促進策

藤井 典幸 議員.....15P

- ① 町立図書館
- ② 町道里見447号線の拡幅

佐藤 耕三 議員.....16P

- ① 種苗法
- ② 駅へのエレベーター設置
- ③ 小・中学校の少人数学級

岡村 咲津紀 議員.....17P

- ① 防災について

高田 卓司 議員.....18P

- ① 情報公開
- ② 町財政の運用の仕方

仁科 千鶴子 議員.....19P

- ① 放課後等デイサービスは必要では
- ② コロナ対策

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

9月定例会

一般
質問

町政を問う

平野 敏弘 議員



定住者対策は

町民課長／産業・都市基盤の整備

問

町の定住の取り組みで、過去3年間に里庄町に転入した人の年代別の内訳は。

町民課長

平成29年度の転入者は、

転入

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
平成29年	56	18	112	103	38	15	8	2	4	9	356
平成30年	48	19	135	79	34	16	11	12	4	3	361
令和元年	46	25	135	93	34	20	13	9	1	1	377

問

人口を増やしていけば町の活性化や税収の増加など町にとって重要なことである。

定住者対策と今後の取り組みは。

町民課長 福祉や教育、生活環境や産業、都市基盤の整備などが、定住対策につながるものと考えていく。

問

分館への加入率は。

町民課長

7月31日現在、88・7%。

問

町の対応や各分館の取り組みについて何があればいいのか。

分館に加入していないと不利益なことはないのか。

理由があり分館に入らない人に対して、町の情報が全く入らないことがあつてはならない。

企画商工課長

人とのつながりが一番大切なことである。同じ地域に暮らす住民同士として、町の行事や各分館の活動など、積極的に参加してもらい、交流を図り、お互

空き家対策は

総務課長／法律及び条例等の規程

問

町内で空き家と思われる建物はどのくらいあり、人が住める状況なのか。

総務課長

空き家は約100軒と認識しており、具体的に実際使える数は答えられない。所有者に家を倒してもらったものもある。しかし、関係条例の整備がまだできていない。仕組みづくりをした上で、空き家対策に取り組んでいきたい。

問

家屋が倒壊し近所の人が何とか、空き家を倒してほしいと

分館へまちづくり補助金を出している。

分館に加入していても不利益が生じないように、関係各課より町の

があると考えている。

倒壊等の危険性のある空き家は、所有者による除却等の適正な管理を法律及び条例等の規程により促していくことが必要であると考えている。

不動産業者と協力し、空き家の有効活用をしたらどうか。

総務課長 将来的には公益社団法人岡山県

宅地建物取引業協会及び一般社団法人岡山県不動産協会に所属し、一定基準を満たす会員業者と連携し、空き家の売買や、賃貸契約をまとめる岡山県空き家情報流通システムの利用を検討する必要

その他の質問

Q 災害発生時の災害弱者等の確認を、町はどうするのか。

A 災害時は、健康福祉課や地域包括支援センターが保有する情報を基に、支援の必要性を把握している世帯に、行政から直接に状況を確認する。

登記された権利の否定は大問題

町長／考え方など、これまでと同様で



仁科 英磨 議員

問

地籍調査・境界確認は、現況の初め、地租改正のときに作成された公図上の筆界を現地に復元する作業、いわゆる原始筆界を公図に基づいて正しく公正に確認する作業であることを確認したい。

また、里庄町では、筆界未定、特に道路関係で筆界未定が多く生じている。

その原因は何か。問題解決のための町の努力は、**国土調査室長** 地籍調査は登記されている既存の境界を、法務局備え付けの公図などの公的資料等により、土地関係者から意見を聞きながら、確

認し、登記簿等に反映する事業。

筆界未定の原因は、隣接土地所有者との意見の相違や、住所不明による不立会等。

調査の意義や筆界未定が及ぼす影響などを十分説明し、理解を得るよう努めている。

問

一番基本的なところが違っているため、色々な問題が起きている。

意見が違ったら、町は、簡単に筆界未定にする。「後で登記する時にたくさんお金がかかるが、いいですね。」と言って。これは、町の主張を飲ませようとする脅しにも

聞こえ、泣き寝入りを強いるような状況。

本当に原始筆界を確認する立場でやっているか。

国土調査室長 従前からの筆界等の確認作業を、慎重かつ丁寧に進めている。

筆界は、第三者ではなく、原則土地関係者同士で確認すること。

問

里庄町は、あと1〜2年調査がある。

筆界未定地は、この最終年度までに確定させて、地籍調査の中で処理することはできないか。

国土調査室長 年度毎に実施計画的かつ効率的に進めて

いく必要があり、筆界未定も調査の成果の一つ。その解消まで調査継続することは、考えてない。

問

里庄町では、登記された地積測量図がある土地についても、それを使わず、現場に持っても来ず、話し合いで進めているため、面積が大幅に拡大したり、縮小するケースがある。

個人の記憶や主張と公的記録のどちらが正しいのか。現況優先主義ではないか。

登記された所有権は、憲法や民法で、絶対的な権利として守られている。これを否定することは、我が国の私有財産制度を

否定することであり、大問題ではないか。

国土調査室長

現地調査に先行して、地積測量図を含め、公的資料を用いて事前調査をしている。

地積測量図は、重要な資料だが、作成の時代によつては周辺土地との骨格や辺長等に整合性が取れない図面も多いため、現地の調査で土地所有者等が判断に困らないよう、慎重に取り扱っている。

町長

地籍調査は、これまで、多くの地権者の皆様のご理解とご協力をいただき、おおむね計画どおりに進捗してきた。

令和3年度には現地調査が、5年度には事業が完了の予定なので、考え方、進め方も、これまでと同様にしたい。

その他の質問

Q 新型コロナウイルス対策として、多くの人が触れる庁舎のドアや水道の蛇口、トイレの水洗レバー等の消毒も、清掃委託業務に入れ、頻繁に行つては。

A 職員が1日1回以上行っている。

Q 全て無菌状態にするのは不可能。

Q 職員の採用にはチャンス。

A いい職員の確保を。

A 厳正に審査、採用する。

Q 学芸員の業務補佐として、地域おこし協力隊員を入れては。

A 様々な角度から研究中。Q 百歳体操への参加促進策の検討結果は。

A 賞や記念品は考えない。効果の検証結果をお知らせする等したい。

藤井 典幸 議員



町立図書館の魅力アップ

教委事務局長／選書に力を入れている

問

図書館は、地域に密着した大切な施設。コロナ収束後の図書館の利用促進策について尋ねる。

全国的に図書館の来館者数や貸出冊数が減少傾向に有ると聞いている。図書館の魅力アップが、利用者を増やす対策の一部だと思う。その中で図書の充実が魅力の一つだと思うがどうか。

局 長

魅力のある本を購入できるように、現在選書に力を入れている。

問

公立学校でパソコンを使ったGIGAスクールが始まる。それに伴い、図書館に館内Wi-Fiの整備をしたらどうか。

局 長

図書館の本来の目的も考えながら、図書館運営協議会委員の意見を聞き考えたい。

問

全国的に公立図書館の半数以上

が飲食を許可している。町立図書館でも部分的に緩和して、軽飲食できるスペースを確保したらどうか。

局 長

図書館の構造上、困難であると考ええる。

飲物を飲むスペースは、今の場所以外で設置することができないか研究したい。

問

福祉施設四つ葉の家と連携協力をして読書カフェを考えてはどうか。

局 長

図書館で本を借りて四つ葉の家で読書や飲食をすれば、図書館の利用者も、四つ葉の家の利用者も増える可能性がある良いことだと思う。今後、四つ葉の家と協議をしたい。

問

コロナ収束後の図書館の在り方

引き続き落ち着いて読書ができる

環境整備、魅力ある行事の提供、読書手帳の活用、新刊図書の充実、子

どもの頃から本に親しむ環境も必要と考える。

里見447号線の優先順位

優先順位

農林建設課長／高い路線だと思う

問

町道里見447号線の一部(本村地区、里見釣具からフジサワ自動車までの道)は道幅が狭く見通しが悪いため、通行に支障が出ている。このような状態を把握しているのか。

これまでにどのような対策をしたのか。

農林建設課長 通行車両も多く危険な状態は把握している。

これまでの対策として、カーブミラーの角度の変更で対応した。

問

歩行者の安全確保や車両の円滑な通行を考えると、里見

問

川の一部に蓋をして、全体的な道幅を拡幅したらどうか。

課 長

里見川は二級河川なので、全面的に蓋をすることはできない。

問

新たに県道へ出る道を整備したらどうか。

課 長

新規道路の整備をする場合、多額の費用が掛かるので現実的ではないと考える。

問

見通しが悪く狭い部分が多いので、途中に待機場所を造る方法も有効だと思うが。

問

今後、どのような対策が一番効果的と考えているのか。

課 長

道路が傷んでいて端に寄りにくいため補修をしようと考えている。

問

今後、危険な箇所の安全を確保するために、費用対効果を踏まえている手法を検討していく。

問

交通量の増加と安全確保、住みやすい環境整備を考えると、優先順位は高いように思うが。

農林建設課長 優先順位は高い路線だと思う。

種苗法改正の影響は

農林建設課参事／過度な影響は少ないと思う



佐藤 耕三 議員

問

種苗法改正による影響をどう考えるか。

農林建設課参事

一般品種は8割から9割なので、過度な影響を受けることは少ないと思う。

問

毎回種を購入すれば費用が掛かり、栽培を続けることはできないという声が各地である。里庄町農業振興計画の構想ともかけ離れるのでは。

農林建設課参事

町の実態に合った農業振興を図ることが大切。基礎自治体としての役割を進めていければと考える。

問

EUでは、ゲノム編集されたものは流通規制されているが、日本では表示義務も不要。

農業者の安定経営や食の安全の上でも、種苗法改正による問題についての研究し、声を上げる必要があると考えるが。

農林建設課参事

国は、海外企業による種子の支配を心配する状況にはないと説明している。ゲノム、遺伝子組換え等は別の法律で国が見守っていると理解している。種苗法改正の議論を見守っていく。

問

町長

駅のエレベーター設置の考えは、JR、国、町が3分の1ずつ事

業費を負担し進めるほかないが、乗降客の条件設定があり、現時点ではすぐに事業化は難しい、と考えている。

エレベーター設置は

町長／すぐに事業化は難しい

問

地元が全額負担し設置したのは7駅で、費用は合計3億8000万円。

駅前整備のために1億3000万の予算をつけたが、それでつくのならエレベーター設置を考えるとどうか。

町長

階段等様々な工事や設計費もかかると考える。

問

教室ではコロナの感染を防ぐ十分な距離はとられているのか。

教委事務局長

十分とは言えないが、間隔をできるだけ離すなど対策をしているのが現状。

問

20人学級についてどう感じるか。

教育長

すぐに実現は難しいが、法律で定める人数よりも少ないほうが望ましい。

コロナ発生の前は25人から30人ぐらいいいと思っていたが、20人に近い編成ができればいいが、教室が不足する。

問

コロナの下で県の学力テストは実施され、秋にも実施すると聞いている。見送る考えは。

教委事務局長

秋のテストも有効に活用する。

問

教員確保の対策が必要と考えるが。

教育長

少人数教室が実現できれば、今以上の教育が行えると感じているので、その方向に向けて努力していきたい。

20人学級どう感じるか

教委事務局長／今より少ない人数を

岡村咲津紀
議員



自主防災組織、サポートは

総務課長／資機材購入に50万円

昨年、ハザードマップを全戸に配布した。配布したから万全、安心だということではない。災害が発生した場合、普段から地元の危険箇所、避難経路、支援を必要とする方の居住地等の情報を地域住民が共有することで、被災時に安全に迅速な行動が可能となる。

問

マップを基本に防災士や分館住民が、分館内の危険箇所のチェック、要配慮者の把握、救助等の情報収集や共助等、地域に応じたマップの作製をした分館があるのか。

総務課長

マップを作製したのは5分館、本年度1分館が取り組んでいる。

問

自主防災組織の立ち上げに、町からのサポートや補助金があるのか。

総務課長

分館から要望があれば、出前講座や自主防災組織の必要

性、在り方の解説等をサポートしている。

防災資機材の購入に限度額50万円を支給、毎年の活動支援費を、上限年額15万を100世帯以上の分館に、年額10万を100世帯未満の分館に助成している。

問

災害が発生したとき、町と自主防災組織との連携をどう行うのか。

総務課長

要配慮者の避難誘導や、指定避難所での運営を分館と連携し実施していく。

問

地域の防災リーダーである防災士と、自主防災組織と連携は。

総務課長

防災士と自主防災組織の連携はきつてもきり離せない。お互いが連携し、防災活動を年に1回実施している組織もあり、それらの地区はコミュニティーの形成や活性化が非常に

盛んである。

問

11月29日予定の防災訓練の内容は、コロナの感染防止等も含めた計画なのか。避難所運営のマニユアルの整備の進め方は。学校の防災・避難訓練だけではなく、地域での防災教育をどう進めていくのか。

総務課長

訓練とセミナーの2部制で実施。訓練は風水害を想定し、自宅から中学校の体育館まで避難をしよう。町は、災害対策本部会議を開き、決定した避難情報などを対象地域に情報伝達を行う。分館長にラインワークスを活用して情報伝達を行ってもらおう。参加者は避難情報の発令を受け避難を開始、避難過程のシナリオは指定しない。

防災士を中心に、災害時要配慮者の避難支援や避難路の選定及び避難者の確認などしてもらおう。

防災セミナーは、コロナ禍での避難所運営を行うことを目的に、応急手当て講座、非常食の作成体験、段ボールベッドの組立て体験をしよう予定。

問

町の指定避難所に飲料水の備蓄はどれくらいあるのか。

総務課長

飲料水は2リットルのペットボトル180本を総合文化ホールの下の倉庫に備蓄

問

支援を必要とする方々の登録者数は。

健康福祉課長

対象は、要介護3以上、身体障害者手帳1級と2級、療育手帳、精神保健福祉手帳の保持者。

70歳以上の独り暮らしか70歳以上のみの世帯、難病患者や同様な状態が認められ登録を希望する方で登録者数は現在98人。



自主防災倉庫(大原西)

情報の公開は適切か

町長／法に基づいて行っている



高田 卓司 議員

問 情報の公開への要求が最近高まっている。

里庄町では、情報公開

条例、個人情報保護条例等を制定しているのか。

総務課長 それらの条例、規則は制定している。

問 会議録の公開についてはどのよう

に規定しているか。
総務課長 町の規則等に基

づいて公開しているのは、里庄町総合教育会議、里庄町教育委員会

選挙管理委員会、公平委員会、監

査委員会などはなぜ公開しないのか。

総務課長 法律に基づいて公表できるものは公開している。その他

情報公開条例に基づく開示請求をすれば閲覧できる。

問 例えば農業委員会の会議は公開

しているが、内容が非常にわかりにくい。他の町のようにもっと詳しくできないか。

農林建設課 参事 農業委員の皆様と協議をしながら検討したい。

問 次に社会福祉協議会の会議録は

あるのかなのか。

総務課長 社協についてはこの場ではお答えを差し控えさせていた

だけ。

問 町長が社協の会長

長を長くしているがために緩みが出ているよう

だ。
町長 町長が社協の会長をしているのは適切でないと思

うが。よくないと考える趣旨が分から

ない。法的には問題がないと認識している。

問 社協は町から、多額の補助金によ

って運営をしている。お金を出す側ともう

側が同じ人というのは問題である。

ほとんどの自治体では町長、市長が社協の会長

をしていない。ということとは「するべきでない」

のでは。
町長 兼務することを禁

止するという内容ではない。法律違反をして

いるわけではない。
問 副町長、あなたは

副町長、あなたは法的には問題があるとは認識して

いない。

問 「厳しい財政事情のため優先順

位をつけて物事を行っている」といっても言っている。新年度になるとすぐ

予算が無いと言われてなかなか要望が、できない現状である。街灯一つにしてもなかなか実現しない。役場の周りはなぜ街

灯があんなに多くいるのか。中には両側についている所もある。予算の使い方全般的に公平とは思えないが。

町長 役場周辺の街路灯は最近つけていない、以前からついて

いる。役場の周りは避難所にもなっており中学校の体育館は夜使う人もいる。福祉会館は会議等で使用する、ということも多く

なっている状況だ。
問 当初予算の審議

は各課の総額の予算で具体的なものは全

くない。役場周りの街灯は「昔からあったから」、こんな

な言い訳しないで本気で考えてほしい。
町長 役場周辺の街路灯

については、言い訳ではない、現実。福祉会館、体育館は災害時に使用するため、これまでどおり照明はつけてお

町財政の運用の仕方は

町長／全体のバランスを見ながら執行

仁科千鶴子 議員



18歳まで必要では

町長／すぐではないが考える

問

今年5月に開設した発達支援センターさとしょうの内容と利用状況は。

健康福祉課長

老人福祉センター12階に笠岡学園に貸し開設。

対象は、小学校2年生まで、里庄・笠岡・浅口在住者。

開設時間は、午前9時から午後5時まで。

支援員4名、預かり定員は1日10人。

生活自立支援、個別・小集団療育、個別相談を柱に支援を行う。親子通園が基本であり、契約者25人、一日平均利用者数約6人。

問

発達支援センターのメリットは。

健康福祉課長

メリットは特性を理解し、環境を整えることで、可能性が広がる。居場所ができる。保護者の一時的な休息、自分の時間が持てる。デメリットは、町内に

問

小学校3年生以上を支援する事業所がなく、遠くになり通所が出来ない可能性がある。

問

18歳までの放課後等デイサービスの予定があるのか。

多機能型事業所として0歳から18歳までの受け入れを考えてないのか。

健康福祉課長

現在のところ予定していない。

町長

今後利用が増大する可能性は十分見込まれる。教育長と、複数箇所を訪問し、里庄町にも実施する重要性を認識している。

すぐにということではないが、考える。

問

社会福祉協議会の運営であれば、ニーズに合った安心感がある。

委託先を考えるべきでは。

町長

どういう事業所がいいのかを含めて、今後研究する。

コロナ対策について

教育長／徹底しよう

問

コロナ対策事業として実施された、効果は。

副町長

子ども食事応援券事業の実施は、換金率93・7%で、来店のきっかけとなり、客数が戻った等、うれしい声があり、成果があった。

マスク等物品購入事業は、備蓄用マスク1万枚購入、子ども・妊婦にマスクを購入・配布、非接触型体温計等購入。

児童扶養手当受給者支援金を65世帯116人、出産支援金事業23人に交付。

医療機関支援事業50万円は、9月から受付け。一定の成果が得られた。

問

第3次交付金を、自宅で介護している家族・百歳体操、元

気アップ体操に救済措置はないのか。

副町長

高齢者は、経済的影響は比較的小さい。独居の高齢者が、孤立しないよう電話・訪問による声掛け等を行い、百歳体操や茶話会の場面に外出を促している。

今後、状況を踏まえ検討していく。

問

学校休業で、子どもに勉強の弊害はでないか。

教育長

学校行事が数多く中止となり、学習に影響が出ている。じっくりと学ぶ時間・集団生活が非常にできない・食堂給食ができない。

問

アルコール除菌やマスク以外に学校・児童等の対策は。

教委事務局長

学校では、給食方を向き黙って食べる。体温をカードに記入、3密になりやすい場所は重点的に消毒、教室の換気を行っている。

学童保育では、サーキユレーター・空気清浄機を使用、ペーパータオル使用、こまめに換気しているのでエアコンの清掃・パーテーション、水道蛇口をレバー式に変更等対策している。

問

このまま続けると、次の手を考えているのか。

教育長

より良い方法を研究し、追加していくことで、今やっていることを徹底していく。

町民の方に
聞きました

現在の里庄
これからの里庄

100号記念アンケート

第3弾



広池の上にドラム缶浮桟橋遊歩道を取り付け、多目的遊園地を造る。夏は涼を、冬は野鳥観察を。

定岡弘明
(西平井 男 70代)



駅前広場の整備を期待します。道路が狭く電灯も少なく怖いです。安心安全な里庄を！

矢谷雅世
(川南 女 30代)



藤井風君ファンが聖地巡礼に県内外から来られます。皆さんの里庄町の感想は「優しい人の町」「思いやりのある町」「笑顔のある町」だそうです。

小野廣志
(浜中国地東 男 70代)

独居、高齢者世帯にやさしい無料券（病院、スーパー等）があれば、とまも助かります。

奥野義夫
(浜中北 男 70代)



子育て支援や福祉を充実させ、町民が住みよい町にしたい。

原田佳明
(大原東 男 20代)

とまも住みやすい町です。今後は防犯や自然災害に強い町になってほしいです。

定平真美
(浜中国地西 女 40代)



共働きのため、近くで買い物出来るよう何でも揃っている大きな量販店がほしいです。

久保由佳
(堂迫 女 20代)

公約をもって議員になってほしい。議会で発言をするべき。議会を議論する場にしてほしい。

中尾彰夫
(西平井 男 70代)



みんなが手を繋げば、里庄の未来はもっと明るくなるよ！自分が出来ることは何か？

中里房子
(君賀原 女 70代)

分館放送が聞こえないのが困る。

浅田真宏
(大原東 男 30代)

たくさんのアンケートを
ありがとうございました。



《第102号》

令和2年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

●あしがき

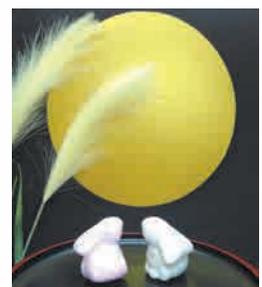
今年の中秋の名月は、イベント自粛中ですが、夜空を見上げ、お団子を頬張りました。今年の月は、本当に綺麗でした。

月の明るさに、会話も弾み家族団らんを楽しむことができましたか。

眺める場所は違えど、時の共有ができたことをうれしく思います。 (仁科千)

編集委員

委員長：小野光章 副委員長：藤井典幸 委員：仁科千鶴子 委員：佐藤耕三



令和2年第9回定例会は、12月4日(金)から始まる予定です。